

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】 第13号

令和8年1月16日 文責：立山 亮仁

後期後半スタート

後期後半が始まりました。後期後半は「次の学年の0（ゼロ）学期」とも言われます。これまでの学年で身に付けた力に自信をもちながら、課題に感じていることや、もっと伸ばしたいと思う部分を見つめ直し、次の学年への準備を進める大切な時期です。

「1月は行き、2月は逃げ、3月は去る」と言われるように、この3か月はあっという間に過ぎていきます。本校では、後期後半の開始集会をオンラインで行いました。校長講話では、この時期だからこそ「新しい年の自分に、一つだけ約束をしよう」という話をしました。

大切なのは、決めたことを続けることです。続けることで習慣が変わり、習慣が変わることで考え方や生き方にも変化が生まれます。その変化が成長につながり、人生を豊かにしてくれます。

子どもたちが目標をもち、日々の積み重ねを大切にしながら、次の学年へと力強く進んでいくことを願っています。

「“もったいない”の心」を 育てる～地域とつながるフードドライブ～

本校では、食品ロスを減らす取組として「フードドライブ」を実施しました。フードドライブとは、まだ食べられるのに捨てられてしまいそうな食品を集め、必要としている方々に届ける活動です。世界では、食べ物が足りず困っている人がいる一方で、まだ食べられる食品が多く廃棄されている現状があります。この活動は、そうした「もったいない」を減らし、助け合いの心を広げる大切な取組です。



3年生は社会科で「スーパーの仕事」を学ぶ中でフードドライブの存在を知り、給食委員会の5・6年生と協力して学校全体に呼びかけました。その結果、3日間でコンテナ6箱分もの食品が集まりました。子どもたちが主体的に行動し、地域の課題に目を向ける貴重な学びとなりました。

ご協力いただいた保護者・地域の皆様、マックスバリュみずき台店長の吉村様に心より感謝申し上げます。今回の経験が、未来を担う子どもたちの「もったいない精神」と「思いやりの心」を育む大きな一歩となりました。

ほっと一息⑫

小学生の哲学（てつがく）！……の巻



かぞくのためのホームプロジェクトの成果です